

ETOWA KASAMA（茨城県笠間市）

作成時点：令和7年5月

「あたご天狗の森スカイロッジ」を活用した公民連携事業

アウトドア施設

アウトドア施設

基本情報



写真出所：笠間市

位置図

茨城県笠間市上郷2775-7



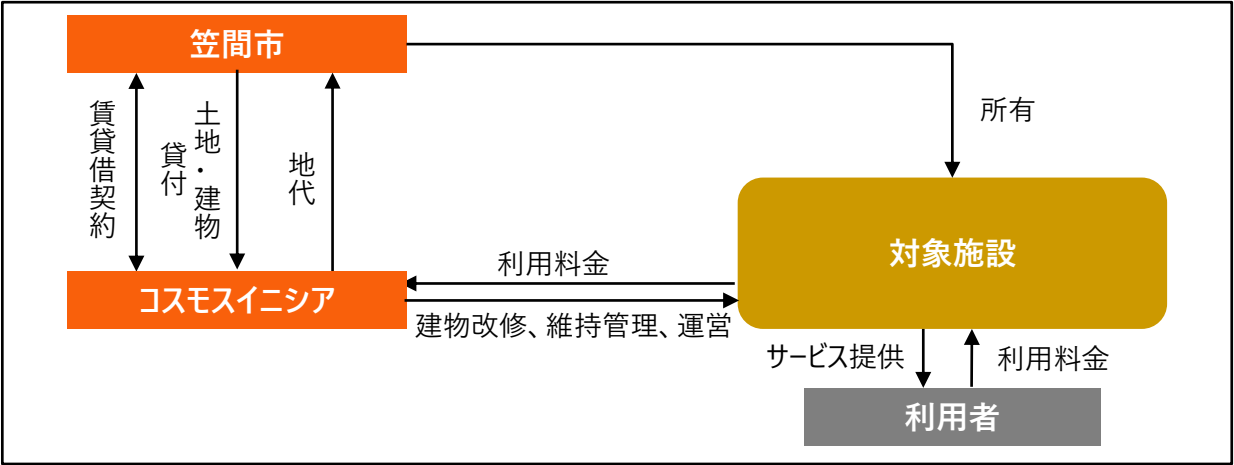
出所：地理院地図を引用

掲載内容
に関する
問合せ先

笠間市 産業経済部 観光課
TEL：0296-77-1101
Email：kanko@city.kasama.lg.jp

事業主体	茨城県笠間市（人口：70,470人 ※令和7年4月時点）
事業手法	賃貸借
民間事業者の 業務内容	・施設改修工事（施設内外装・給排水設備・空調設備・客室設備・ネット環境整備等） ・グランピング用テント・ファイヤープレイス・アウトドアバー等の維持管理・運營業務
事業期間	約10年間（令和元年12月～令和12年4月）
事業費等	・改修工事費 約142百万円 ・賃料 年額1.4百万円 【うち行政負担：なし】
活用した 補助金	なし
事業者	株式会社コスモスインシア（市外企業）
事業経緯	・令和元年8月 公募開始 ・令和元年9月 事業者選定 ・令和元年12月 賃貸借契約締結 ・令和2年7月 開業

事業スキーム図



ETOWA KASAMA（茨城県笠間市）

作成時点：令和7年5月

アウトドア施設

アウトドア施設

検討経緯

- 笠間市創生総合戦略において「既存ストックのマネジメント強化」が施策として打ち出され、既存ストック活用の事業化検討がスタートした。
- 観光協会による指定管理施設の一つであったが、利用者の減少や老朽化に伴う大規模修繕が必要となっていたことから、単独施設で黒字であったスカイロッジについて、新たな観光需要（若者・女性）を呼び込む来訪拠点の強化を主軸とした将来に向けたよりよい活用策の検討を開始した。
- 民間資本による将来性のあるリノベーションや、柔軟な料金設定を行ってもらう目的で賃貸借での公募を実施した。

取組のポイント

- 公募の際に、「事前相談申込書」を様式として設定し、市と事業者とで要求水準や提案内容に齟齬が生じないようにすり合わせができるようにしていた等、民間事業者側からの提案を受け付けやすい体制を作っていた。
- 開業前の改修工事費は全て事業者負担とすることで、市の負担なく大規模修繕が達成でき、開業後の修繕リスクは契約書において負担区分を明らかにすることで、市と事業者とで分担することとした。
- 事業手法の検討等、過程の透明性を高め、事業の属人化を防ぐ目的で、笠間市公民連携推進条例やガイドラインを定めた。

得られた効果

- 開業2～3年目には年間約1万2,000人も利用があるなど、高い誘客効果が得られている。
- 対象施設のある愛宕山のふもとにカフェが出店するなど、施設のみでなく施設の周辺も観光客が誘引できる環境に変化する波及効果が出始めている。
- 事業者との関係性が構築できたことにより、市と事業者間での行政課題の共有や課題解決のための連携が容易となり、茨城県民割やコロナ禍における子育て世帯向けのプラン策定などが実現した。

施設HP：<https://www.cigr.co.jp/etowa/kasama/>

利活用前



写真出所：笠間市提供

利活用後



写真出所：株式会社コスモスインシア